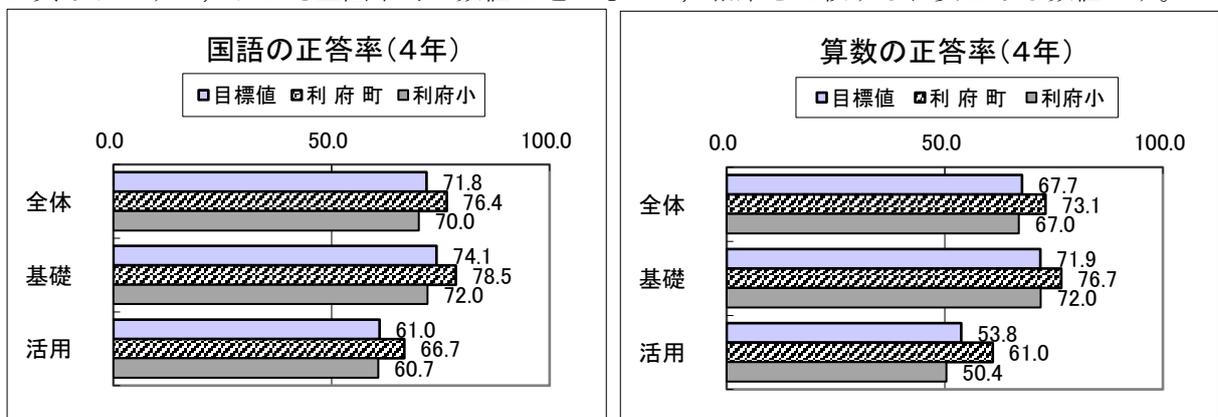


## 令和元年度 標準学力調査の結果とこれからの取組（4学年）

2学期末に行われた標準学力検査の結果と今後の取組についてお知らせいたします。また、児童には一人一人に検査の結果と学習のポイントが書かれた個人カードを配付いたしました。ご家庭でも学習への取り組み方等についてお子さんと話し合い、励ましの言葉をかけていただければと思います。

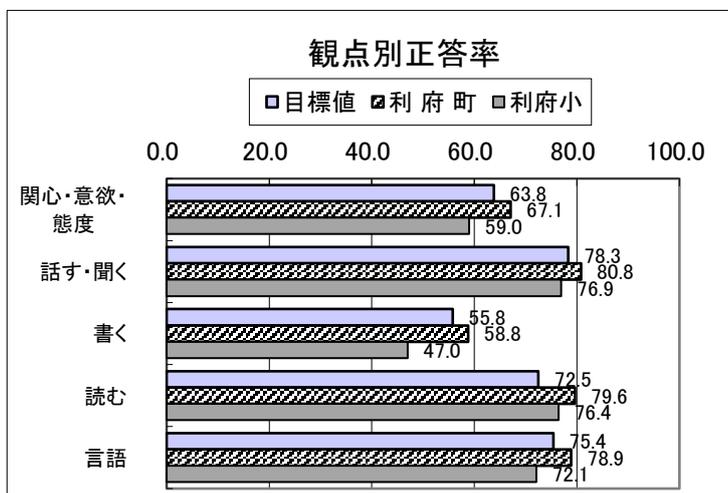
### 学年全体の結果から

**目標値**とは、データに基づいてこの数値まで到達してほしいラインを表したものです。実際の正答率とは異なりますが、およそ全国平均の数値と近いもので、結果を比較する目安となる数値です。



- ・ 国語については、全体で1.8ポイント目標値を下回っています。活用する力は目標値と同等ですが、基礎が2.1ポイント下回り、基礎の項目に特に課題が見られました。
- ・ 算数については、全体で0.7ポイント目標値を下回っています。基礎では目標値と同等ですが、活用では3.8ポイント下回っており、活用する力に課題が見られました。

### 【国語】 ◎ よくできていた点 ● 課題としてあげられる点

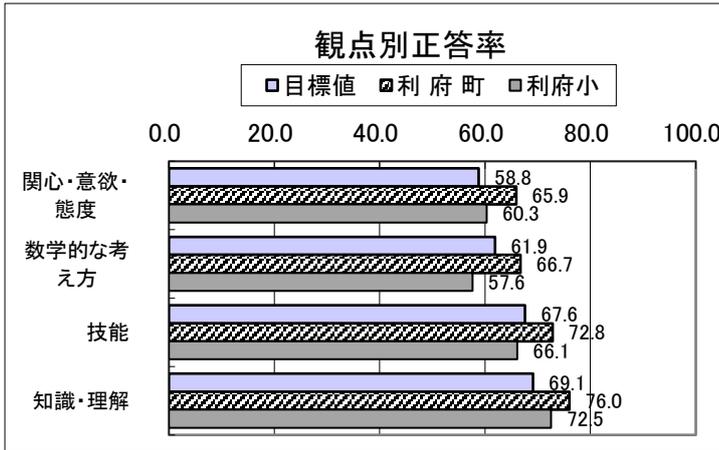


- ◎ 物語の場面の様子や、登場人物の気持ちを読み取る問題の正答率が高くなっていました。
- 漢字辞典の使い方に関する問題の正答率が低くなっていました。
- 字数指定や段落構成など、指定された条件で文章を書く問題の正答率が特に低くなっていました。

【算 数】

◎ よくできていた点

● 課題としてあげられる点



- ◎ 垂直や平行を見付ける問題の正答率が高くなっていました。
- ◎ 面積を求めたり，図形の特徴を選んだりする問題の正答率が高くなっていました。
- 計算のきまりを使って工夫して解く問題の正答率が低くなっていました。
- 式の意味を理解し，図や文章に表す問題の正答率が低くなっていました。

今後の取組

- ☆ 漢字辞典を日常的に使えるように，教室に漢字辞典を置くなどして，辞書に触れる機会を増やしていきます。
- ☆ 文字数や段落数の指定など，条件を加えた課題を提示し，条件に合わせて書くことができる力を伸ばしていきます。
- ☆ 算数では，計算のきまりの問題を，宿題の算数プリントで出したり，授業の最初に短時間で解かせる時間を作ったりするなど，再度復習させることで定着を図っていきます。
- ☆ 授業の中で，なぜこの式になるのかを考えさせたり，友達の考えを聞いたりしながら，ただ計算するだけでなく，意味についても理解できるようにしていきます。

個人票『あなたの結果』の見方

① 教科正答率 (%)

すべて正解の場合は100.0%になります。「あなた」の欄のお子さんの数値と目標（到達してほしい数値）を比較しておおよその目安としてください。

右側の児童のみなさんへの文章をお子さんと一緒に読んでみてください。

② 内容別の正答率

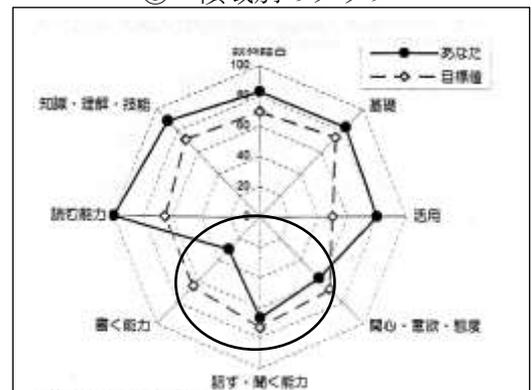
国語と算数それぞれの問題の内容別にお子さんの正答率を表しています。評価は目標値との比較により，3段階で表されています。特に▲は，内容が十分に身に付いていないことを表します。

表の下にはお子さんへのアドバイスが記述されています。自主学习に取り組む際の参考にしてください。

(例) 小学校1年 さんすう

問題の内容	正答率 (%)		評価
	あなた	目標値	
20までのかず	80.0	82.5	○
たしざん	87.5	77.9	◎
ひきざん	65.4	81.4	▲
▲の評価であるひき算の学習が十分に身に付いていないことがわかります。			
総合	78.5	79.5	○

③ 領域別のグラフ



『目標値』より内側の値(○の中の部分)は目標に届かなかったことを表します。

※詳しくは，個人票の裏面をご覧ください。